めぐりあう今を映す

日本の現代ガラス 1975-2025

会期:2025年11月1日(土)-2026年1月25日(日) 会場: 富山市ガラス美術館2・3階 展示室1-3

主催:富山市ガラス美術館 助成:芸術文化振興基金

後援:北日本新聞社、富山新聞社、NHK富山放送局、 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ



10_{th} 富山市ガラス美術館 TOYAMA GLASS ART MUSEUM



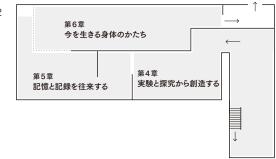


- ・ 作品情報は、作品番号、作者名、作品名、制作年、素材・技法、寸法(H×W×Dcm)、所蔵の順に掲載した。・ 資料の情報は、資料番号、作者/編者/出版社等、資料名、制作年/刊行年、所蔵先の順に載した。
- ・ 都合により展示作品、展示資料の一部を変更することがあります。

第1章 個人としての創造の時代へ 笙3音 空間に展開する表現 第2章 国際交流の拡大

2階:展示室 1-2

3階:展示室3



作品リスト

第1章 個人としての創造の時代へ

伊藤孚 宙吹硝子 巻紙

> 1985 吹きガラス 34.5×13.3×11.2 富山市ガラス美術館

1-2 伊藤孚 中空 1982 スランピング 4.5×39.5×15.0 個人蔵

1-3 伊藤孚 ピエロ 1994 キャスティング $33.5 \times 47.0 \times 8.0$ 個人蔵

1-4 濱田能生 瑠璃硝子紋打花瓶

制作年不詳 吹きガラス 26 2 × 19 0 × 19 0 益子陶芸美術館

1-5 濱田能生

緑硝子吹込花瓶 1997 吹きガラス

21.0×18.6×18.0 益子陶芸美術館

濱田能生 1-6 銀黄硝子墨流花瓶

> 2001 吹きガラス 20.0×12.5×12.5 益子陶芸美術館

1-7 藤田喬平

飾筥·琳派

1987 ガラス、銀覆輪、型吹き、酸腐食 $17.0 \times 24.0 \times 24.0$ 富山市ガラス美術館

1-8 淺原千代治

ファンタジー 1977

ソーダガラス、宙吹き、カット 可変 作家蔵

1-9 ジョエル・フィリップ・マイヤーズ 接近する断片・青 HOKJ 1982

ガラス、被せガラス、サンドブラス ト、エッチング $28.5 \times 24.5 \times 8.0$ 北海道立近代美術館

1-10 マーヴィン・リポフスキー パワー・カップ 1973

ガラス、鋳造 34.8×10.0×14.8 北海道立近代美術館

1-11 アン・ヴォルフ 小さな母親たち

吹きガラス、被せガラス、エッチン グ. サンドブラスト 12.0×32.0×32.0 富山市ガラス美術館

1-12 フィン・リュンゴー

ゴブレット 1975 ガラス 26.8×7.8×7.8 森野泰明氏所蔵

1-13 ハーヴェイ・ド・リトルトン 内包された運動

> 1988 被せガラス、カット 各:H1016(6点組) 富山市ガラス美術館

1-14 ドミニク・ラビーノ エア・スカラプチュア

1979 ガラス 11.6×7.5×7.5 京都国立近代美術館 **1-15** ドミニク・ラビーノ 三段階の形成

1980 ガラス

23.8×13.0×5.6 京都国立近代美術館

第2章 国際交流の拡大

2-1 倉本陽子 白のコンポジション

> 1987 宙吹き、フュージング、スランピング $5.0 \times 45.0 \times 41.0$ 作家蔵

2-2 倉本陽子 陰影の連作Ⅱ

> 1991 宙吹き、フュージング、スランピング、 サンドブラスト 76×455×438 作家蔵

2-3 野田收 風のかたち 1984

色ガラス、宙吹き $14.0 \times 29.0 \times 26.0$ 作家蔵

2-4 野田收 波のかたち 1984

色ガラス、宙吹き、キャスト 33.0×24.0×14.0 作家蔵

野田由美子 2-5 春の息吹き

1987 ガラス、宙吹き、カット、スランピング、 フュージング $4.0 \times 46.5 \times 40.0$ 国立工芸館

2-6 野田由美子 睡蓮池

1988

宙吹き、カット、溶接、サンドブラスト、 スランピング $4.5 \times 49.5 \times 41.0$ 酒井天美氏所蔵

2-7 髙橋禎彦 WG-O

1986

ガラス、宙吹き、色被せ、フューミング、 真鍮

24.0×70.0×24.0 国立工芸館

2-8 髙橋禎彦 ARC

1999

宙吹き、色被せ、サンドブラスト、キル ンキャスト

44.0×133.0×31.0 富山市ガラス美術館

2-9 渋谷良治

海の神殿 '93-1

1993 ガラス、鋳造 65.0×70.0×20.0 個人蔵

2-10 渋谷良治

海の神殿 '95-1

1995

研磨、キルンキャスト 80.0×54.0×46.0 富山市ガラス美術館

2-11 池本一三

SCENE 9102

1991 接着、研磨、エナメル絵付け、サンド ブラスト 72.0×38.0×15.5

2-12 池本一三

作家蔵

SCENE 9105

1991

接着、研磨、エナメル絵付け、サンド ブラスト 64.0×32.0×16.0

作家蔵

2-13 大村俊二 風洞 1998

宙吹き、熔着 50.0×46.0×45.0 富山市ガラス美術館

2-14 大村俊二

躍動 2001

ソリッドワーク 61.0×32.0×23.0 富山市ガラス美術館

2-15 西悦子 チャーミングレディ

2013 パート・ド・ヴェール 37.0×60.0×61.0 富山市ガラス美術館

2-16 西悦子

ファイアーバード 2014

パート・ド・ヴェール 26.0×30.0×36.0 富山市ガラス美術館

2-17 扇田克也 ワタシノアヲゾラ

1991

ガラス、銀箔、キャスト、サンドブラスト $26.3 \times 25.5 \times 26.0$ 北海道立近代美術館

2-18 扇田克也

アメノヒモアル 1991

ガラス、銀箔、キャスト、サンドブラスト 25.5 × 32.0 × 28.0 北海道立近代美術館

第3章 空間に展開する表現

3-1 行武治美 中間領域

> 2003 ガラス、ステンレスケーブル 可変 作家蔵

3-2 多田美波

双極子83-1

1983

ステンレス、熱線反射ガラス $120.0 \times 250.0 \times 150.0$ 富山県産業技術研究開発センター

3-3 イワタルリ

No.893281

1989 ガラス、鉄、麻縄、キャスト 40.0×260.0×20.0 作家蔵

3-4 吉本由美子

空中計画一ガラスの四角柱 analysis and synthesis 2001

フレームワーク

200.0×45.0×45.0 富山市ガラス美術館

瀧川嘉子 境 KYOH No.46

1990 ガラス 81.0×55.0×41.0 北海道立近代美術館 3-6 生田丹代子 摇 - 40

1991 ガラス、積層、接着 144.0×43.7×54.5 富山市ガラス美術館

3-7 家住利男

P 041199 1999 接着、研磨 120.0×25.0×7.0 富山市ガラス美術館

3-8 家住利男 F. 011203

> 2003 板ガラス、接着、研磨 25.0×31.0×31.0 富山市ガラス美術館

3-9 髙橋禎彦、田嶋悦子 Y&E/1998GAS

> 1998 ガラス、陶 可変

富山市ガラス美術館

第4章

実験と探究から創造する

4-1 神代良明 返信 #7

> 2004 ガラス、炭酸カルシウム、発泡鋳造、 スランピング 45.0×54.0×18.0

富山市ガラス美術館

4-2 神代良明

極 #12 2018

ガラス、炭酸カルシウム、発泡鋳造、 スランピング 56.0×61.0×60.0 富山市ガラス美術館

4-3 津守秀憲 胎動 '17-4

> 2017 ガラス、陶土、混合焼成、キルンワーク $30.5 \times 78.0 \times 32.0$ 富山市ガラス美術館

4-4 津守秀憲

胎動 '19-4 2019

ガラス、陶土、混合焼成、キルン ワーク 28.0×54.0×22.0 富山市ガラス美術館

4-5 度會保浩

breathing-eagduru 2024 ガラス、はんだ、銅 60.0×58.0×58.0 作家蔵

4-6 度會保浩

breathing-eagduru 2025 ガラス、はんだ、銅 65.0×51.0×51.0 作家蔵

4-7 度會保浩

breathing-eagduru

2025 ガラス. はんだ. 銅 70.0×60.0×60.0 作家蔵

4-8 竹岡健輔

線跡'21

2021

ホットワーク、キルンワーク 左:50.0×60.0×35.0 右:50.0×60.0×40.0 富山市ガラス美術館

伊藤真知子 繋がりの糸

2025

ガラス、フュージング 17.5×43.0×43.0 作家蔵

4-10 伊藤真知子

繋がりの糸

2025 ガラス、フュージング 22.0×37.5×37.5 作家蔵

4-11 小島有香子

Layers of Light - Night -2011 看層、研磨 13.0×74.5×21.5

富山市ガラス美術館

4-12 塚田美登里

Green Pulse 2025/#4

2025 ガラス 58.7×43.5×16.0 作家蔵

4-13 佐々木雅浩

樹海 #2009 2020

宙吹き、エングレーヴィング、白金彩 $33.0 \times 98.0 \times 32.0$ 富山市ガラス美術館

4-14 藤掛幸智

Vestige

2018

フュージング、コールドワーク、サンド ブラスト、ブロー $40.0 \times 55.0 \times 56.0$ 富山市ガラス美術館

4-15 髙橋禎彦

とろけること、花のような 2010-2015

宙吹き、被せガラス 可変 (14点) 富山市ガラス美術館

4-16 山本茜

源氏物語シリーズ第七帖「紅葉賀」 2011 截金(金箔、プラチナ箔)、キャスト、

融着、研磨 23.8×14.0×14.0 富山市ガラス美術館

4-17 山本茜

源氏物語シリーズ第十九帖「薄雲」 (雪明り)

2011

截金(金箔、プラチナ箔)、キャスト、 融着、研磨 $18.9 \times 10.1 \times 9.7$ 中谷宇吉郎 雪の科学館

4-18 小川郁子

被硝子切子鉢「風わたる」

2024 被硝子, 切子 16.8×30.2×30.2 作家蔵

4-19 渡辺知恵美

清流の烙

2018

高透過板ガラス、アクリル絵の具、エ ングレーヴィング、象嵌、接着、研磨 10.0×100.0×25.0 富山市ガラス美術館

4-20 大室桃生 街

2020

ガラス、パート・ド・ヴェール 12.0×17.5×17.5 作家蔵

4-21 大室桃生

ボウル

2025

ガラス、パート・ド・ヴェール $14.0 \times 24.0 \times 24.0$ 作家蔵

4-22 江波冨士子

Le murrine 1995-2025

1995-2025

標本箱:ガラス(ムッリーネ、カット、研 磨、接着)、木製フレーム グラス:ムッリーネ、吹き(仕上げ:レン ズカット、研磨)、スケッチ:紙 額:60.0×60.0,44.5×44.5 グラス:9.0×6.5×6.5 作家蔵

記憶と記録を往来する

5-1 佐々木類

Reminiscences of the Garden-from Jacob Knapp-2022-2023

ガラス、植物(ポートランド日本庭園 にて庭師とともに採取)、LEDライト 82.5×17.0×0.6

 $(7\nu-4:93.5\times26.0\times5.0)$

作家蔵 ・ジャパン・インスティテュート(ポートランド 日本庭園)でのアーティスト・イン・レジデ ンスで制作

・制作協力・協賛:ブルズアイガラス社

5-2 佐々木類

Reminiscences of the Garden-from Jacob Knapp-2022-2023

ガラス、植物(ポートランド日本庭園 にて庭師とともに採取)、LEDライト 51.0×201.0×1.2 (フレーム:65.2×213×6)

作家蔵

・ジャパン・インスティテュート(ポートランド 日本庭園)でのアーティスト・イン・レジデ ンスで制作

・制作協力・協賛:ブルズアイガラス社

5-3 小田橋昌代

或る一日-光の跡-

2024

ガラス、真鍮、鋳造、エナメル着彩 23.0×48.0×23.0

作家蔵

5-4 小田橋昌代 午前零時

2024

ガラス、真鍮、鋳造、エナメル着彩 32.0×13.0×8.0 作家蔵

5-5 笹川健一

Discontinuous 2024 ガラス

21.5×16.0×16.0 作家蔵

5-6 笹川健一

光が、非情ささえも 2025 ガラス

12.5×14.5×14.5 作家蔵

5-7 笹川健一 Shifted

> 2024 ガラス 23.5×13.8×13.8

作家蔵

5-8 笹川健一

振動する風景 2024

ガラス 20.6×12.2×12.2 作家蔵

5-9 笹川健一

振動する風景

2024 ガラス

27.0×10.6×10.6 作家蔵

5-10 笹川健一

振動する風景

2024 ガラス 26.4×7.4×7.4

作家蔵

5-11 笹川健一 振動する風景

> 2024 ガラス

 $17.7 \times 7.0 \times 7.0$

作家蔵

5-12 笹川健一 振動する風景

2025 ガラス

65×140×140

作家蔵

5-13 本郷仁

残景

2022 窓ガラス、スライド映写機 110.0×40.0×40.0

作家蔵

5-14 小曽川瑠那

深い静寂

ガラス、フレームワーク、コールドワーク

可変

富山市ガラス美術館

第6章

今を生きる身体のかたち

6-1 横山翔平

Amorphous 25-2

2025

ガラス ホットワーク 80.0×90.0×60.0

作家蔵

6-2 小林千紗

しろの くろの かたち 2021-1

2021

ガラス、和紙、メディウム、アクリルガッ シュ、宙吹き

175.0×75.0×61.0 富山市ガラス美術館

6-3 小林千紗

ひと息 01

2025

ガラス、和紙、メディウム、樹脂、アクリ ルガッシュ、宙吹き

90.0×50.0×46.0 作家蔵

6-4 今井瑠衣子

体温の肖像

2025

ガラス、真鍮網、キルンワーク

63.0×62.5×43.0

作家蔵

6-5 佐藤静恵

Interface vol. 6

2020

パート・ド・ヴェール、サギング 30.0×80.0×65.0

作家蔵

6-6 広垣彩子

imaginary friend #2

2012

ガラス棒、ミクストメディア 60.0×70.0×50.0 富山ガラス造形研究所

6-7 松尾里奈

unknown unknowns

2023

ガラス、フレームワーク 54.0×60.0×35.0

作家蔵

6-8 寺澤季恵

生生1

ガラス、鉄、シリコン、ブロー、金工溶接

69.0×65.0×60.0

作家蔵

展示資料リスト

資料 1-1 ガラスコース開設初期のるつぼ

1977年頃

多摩美術大学ガラス研究室

資料1-2 伊藤孚

スケッチブック 1970-80年代

個人蔵

資料1-3 伊藤孚

スクラップブック 1980-2000年代

個人蔵

資料1-4 監修:藤田喬平、編集:石井康治

制作:東洋ガラス株式会社

第8回世界クラフト会議・京都―工業化社会における クラフトマン・手仕事へのあこがれ一ガラス部会記録

1978

淺原千代治氏所蔵

資料1-5 編:第8回世界クラフト会議・京都実行委員会

「第8回世界クラフト会議・京都」報告書

1979

淺原千代治氏所蔵

資料2-1 編: 俣野浩二

『グラスワーク』No.1

1989

富山市ガラス美術館

資料2-2 編: 俣野浩二

『グラスワーク』No.3

1989

富山市ガラス美術館

資料2-3 発行:グラスアートソサエティ

編:ティナ・オールドナウ

The Glass Art Society 1999 Journal

1999

富山市ガラス美術館

資料2-4 新島国際ガラスアートフェスティバル実行委員会

新島国際ガラスアートフェスティバル35周年記念誌

2025

富山市ガラス美術館

資料2-5 国際ガラス工芸展実行委員会 「国際ガラス工芸展」展覧会図録

1984

富山市ガラス美術館

資料2-6 「国際ガラス工芸展 '86 |展覧会チラシ

1986

富山市ガラス美術館

資料2-7 日本楽器製造株式会社

「アメリカン・グラス・ナウ III」展覧会図録

1981

富山市ガラス美術館

資料2-8 北海道立近代美術館、朝日新聞社

「世界現代ガラス展」展覧会図録

1991 個人蔵

資料2-9 京都国立近代美術館

「現代ガラスの美―ヨーロッパと日本」展覧会図録

1980

富山市ガラス美術館

資料3-1 石川県能登島ガラス美術館

「能登島・グラス・アート・ナウ指名コンペティション」展覧会図録

1992

富山市ガラス美術館

資料3-2 瀧川嘉子、高島屋

「Yoshiko Takikawa: Sculptures」展覧会図録

1995

富山市ガラス美術館

資料3-3 グラスアートソサエティ

「第28回グラスアートソサエティ年次総会」冊子

1998

富山市ガラス美術館